



ケース会議のポイント～笑顔のケース会議を作るために～

月に1回程度、保護者、担任、学年団、通級担当でケース会議を行っています。「OneTeam」として、それぞれの立場でできることを一緒に考えていきます。今回は、ケース会議をより有効なものにするため、ケース会議のポイントを紹介します。次回以降にケース会議に参加される際には是非参考にいただくと幸いです。

担任(通常学級)

学校の様子を話すときのポイントは、良い面に注目して話すことです。「**以前より〇〇なところが伸びた!**」と**成長ポイント**に着目して話すことでみんなが笑顔になります。次回のケース会議までの間に多くの成長ポイントを探しておきましょう!

例)「〇月に比べ、クラスでの対話が増えている」/「〇月に比べ、プランニングスキルが身についてきた」/「今週は生き生きとした表情が多かったです/真剣な授業態度が見られています」

→子育ての話題の際は、子育ての考え方の整理と子育てスキルのポイントを解説することも担任の先生の大切なスキルです。

司会(ファシリテーター)

- ①長期・短期目標の確認 **個別指導計画**
 - ②学校の様子(担任)
 - ③家庭の様子(保護者)
 - ④必要なスキルの提案・必要に応じて短期目標の修正
 - ⑤親子間の接し方のリサーチ
 - ⑥次回の日程調整、「すとーりーむ」の整理の呼びかけ
- ※ケース会議では、全員で本人のよいところを交流して保護者から本人へ伝えてもらう。「**笑顔になれるケース会議**」を意識します。支援者がそれぞれの役割の中で、本人の良さを探していきます。

保護者(父母)

担任の先生と同様に**成長ポイント**に注目して話す事がカギです。成長することで新しい課題も見えてくると思います。本人のやる気スイッチが入る声かけ、アプローチと一緒に考えていきましょう。また、子育ての中で実践している事や心がけていることもケース会議の中で話題にしてください。

思春期に伴う成長を共に共有していく(家庭で見せる顔/学校で見せる顔)
保護者(父母)のフィルター/本人のフィルター/担任のフィルターを共感していく

傾聴/共感/ラポール/
見える化/考え方の整理/
褒められポイント/
笑顔/エネルギー活力/
見通し/自己有用感

通級担当

通級指導の様子をスケッチブックで報告します。子育ての話題の際は、**必要な子育てスキルのポイントをスケッチブックで整理します。**

記録

前回の議事録をコピーして、議題(司会の①～④)を事前を書いておきます。また、前回の記録用紙をもとに追記するスタイルで会議の中で出た成長ポイント記録していきます。→**子育て支援ファイル/個別の指導計**

